

きのこ採りをされる皆さんへ



長野県警察山岳遭難救助隊
長野県山岳遭難防止対策協会

9月から11月にかけて、県内では、きのこ採り目的で入山し、道迷いや急斜面を滑落して死傷する遭難が多発しています。

きのこ採りは、探すことに夢中になる余り山奥へと入り込み、方向感覚を失って、現在地が分からなくなり、危険な崖や斜面に入り込んでしまいます。

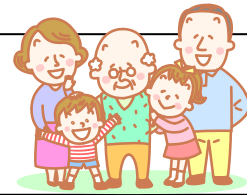
入山する際は、「遭難するかもしれない。」という危機感を持つとともに、必ず家族や友人などに入山場所と予定を知らせましょう。

きのこ採り遭難防止のために次のことに注意してください。

1 入山場所と予定を家族等に伝えましょう。

家族には入山場所と予定を伝えてから出掛けてください。

家族から捜索願が出されても、入山場所が特定できなければ、捜索が非常に困難となります。



2 携帯電話やヘッドライトを持って行きましょう。

携帯電話は、万が一の際の重要な通信手段となります。

車内等に置いたままでなく、必ず携帯して入山してください。

また携帯電話のGPS機能をONにしておきましょう。

秋は日が短く、冷え込みます。万が一に備え、防寒着やヘッドライト等を携行してください。



3 急な斜面に入り込まないようにしましょう。

きのこ採りに夢中になる余り急な斜面に入り込み、滑落し、死傷するケースが多発しています。

不用意に危険な崖や斜面には入り込まないようにしましょう。



4 単独入山、入山後の単独行動は避けましょう。

単独での入山は、アクシデントに遭った際、救助要請ができない場合があります。

2人以上で入山をするようにしましょう。

また、複数で入山後、別々に行動し、道に迷ったり仲間とはぐれてしまうケースが後を絶ちません。お互いに声や目の届く範囲で行動をしましょう。

5 熊などの野生動物に注意しましょう。

山中で熊やイノシシに不意に遭遇し、襲われることがあります。

野生動物からの危害を防止するために、鈴やラジオなど音の出るものを携行しましょう。

